

肺炎球菌ワクチンについてのご案内

当院では成人用肺炎球菌ワクチン(商品名:ニューモバックス、プレバナー13)の接種が可能です。

接種回数・接種量

23 価肺炎球菌ワクチン(ニューモバックス)

	接種対象	接種回数	接種量
定期接種	65 歳 60~64 歳で一定の基礎疾患のある方	1 回	0.5 ミリリットル皮下または筋肉内接種
任意接種	2 歳以上	1 回	0.5 ミリリットル皮下または筋肉内接種

13 価肺炎球菌ワクチン(プレバナー13)

	接種対象	接種回数	接種量
任意接種	65 歳以上	1 回	0.5 ミリリットル 筋肉内接種

成人用の肺炎球菌ワクチンについて

肺炎球菌による肺炎になりやすい高齢者、心、呼吸疾患や糖尿病、腎不全の方に接種をお勧めします。成人の肺炎球菌ワクチンには **23 価(商品名:ニューモバックス)**と **13 価(商品名:プレバナー13)**の 2 種類があり、それぞれ長所・短所があります。

23 価肺炎球菌ワクチン(ニューモバックス)のみが、65 歳以上の高齢者を対象とした定期接種となっていますが、**13 価のワクチン(プレバナー)は防御範囲がやや狭いものの、1 回の接種で免疫に記憶が残り、長期間予防効果あるため、当院では併用をお勧めしています。**

年齢にもよりますが、先に 13 価のワクチン(プレバナー)を接種した後、半年以上空けて、23 価のワクチン(ニューモバックス)を定期接種として接種するのが一番のお勧めです。

先にニューモバックスを接種された方は 1 年以上空けて、プレバナーを接種される方法もお勧めです。

あるいはプレバナー接種から半年以上、またニューモバックス接種から 5 年以上空けて、2 回目のニューモバックスを接種される方法もお勧めです。

インフルエンザで起こる肺炎の 6～7 割は、肺炎球菌によるものといわれています。
インフルエンザワクチン接種も肺炎予防のためお勧めします。

定期接種を受けられる方

2014 年 10 月から高齢者を対象とした肺炎球菌ワクチンが定期接種になりました。
名古屋市では以前から助成を行ってきたこともあり、65 歳以上の方は定期接種または名古屋市助成により、4,000 円で接種できます(対象者は下記をご参照ください)。

助成が受けられるのは、初回の 23 価肺炎球菌ワクチン(ニューモバックス)に限り、以前に同ワクチンを接種したことのある方は対象外となります。

愛知県の広域予防接種事業について

愛知県内の他の市町村の方も広域連絡票があれば当院で定期接種として接種できます。費用はお住いの市町村により異なります。お住いの市町村にてお手続きを済まされてお越しく下さい。

名古屋市の助成について

公費対象者	接種回数	自己負担金
1. 昭和 29 年 4 月 1 日以前のお生まれの方	1 回	4,000 円
2. 60 歳以上 65 歳未満で心臓、腎臓、呼吸器の機能障害、HIV による免疫機能障害があり、その程度が身体障害者手帳 1 級相当である方	1 回	4,000 円

自己負担金免除制度

以下の 1～5 をお持ちの方は自己負担金が免除されます。

1. 生活保護受領証明書(原本:発行日から 1 年間、福祉事務所で発行)
2. 市民税非課税確認書(原本:保健所で発行)
3. 高齢者の肺炎球菌に限り、介護保険料納入通知書・介護保険料額決定通知書、特別徴収額通知など(保険料段階が「第 1・2・3 段階」のものに限る)の写し
4. 中国人残留邦人本人確認証(写真面の写し)
5. 世帯全員の市県民税証明書(原本) + 世帯全員の住民票(原本)

予診票

名古屋市で作成した専用の予診票があります。当院で用意してあります。

副作用他

- 接種後 2 日位してから、接種部位が赤くなる場合や、微熱が出る場合がありますが、すぐ消失します。
- 再接種を行う場合には、前回接種から十分な間隔(商品名:5 年以上)を確保して行ってください。

名古屋市の助成については、下記サイトをご参照ください。

名古屋市HP>暮らしの情報>健康と子育て>健康づくりのために>感染症予防・予防接種>予防接種

高齢者肺炎球菌

<https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000087300.html>